



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月30日

上場会社名 株式会社 バッファロー

上場取引所 東

コード番号 3352 URL <https://www.buffalo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 裕二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 日下部 直喜 TEL 048-227-8860

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,390	9.2	254	80.0	279	71.8	190	74.4
2019年3月期第2四半期	4,021	1.6	141	147.3	162	98.1	108	107.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	85.02	
2019年3月期第2四半期	50.16	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	7,265	5,152	70.9	2,287.57
2019年3月期	6,801	4,974	73.1	2,231.14

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 5,152百万円 2019年3月期 4,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		20.00	35.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	1.0	456	4.7	500	4.9	340	0.5	151.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	2,253,374 株	2019年3月期	2,229,790 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	851 株	2019年3月期	137 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	2,235,055 株	2019年3月期2Q	2,172,083 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月11日(月)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、堅調な設備投資を背景として企業収益は高い水準を維持し、緩やかな回復基調が続きました。その一方で、米国の通商政策をめぐる米中貿易摩擦の激化により外需は減速傾向にあり、国内では相次ぐ自然災害の経済に対する影響が顕在化するなど、景気の先行きにつきましては引き続き注視が必要な状況となっております。内需環境につきましては、雇用・所得環境の改善により個人消費は底堅く推移しましたが、2019年10月からの消費税率引き上げにより、今後は消費の引き締めが強まることが予想されます。

国内カー用品市場におきましては、新車販売台数の回復基調が続くとともに、消費税率引き上げやタイヤの販売価格改定を控え、駆け込みの需要が発生しました。また、危険運転やアクセル踏み間違え事故のニュース報道が相次いだことで、ドライブレコーダー等の自動車運転の安全性に関連した商品に対する注目度が引き続き高いものとなっております。

このような環境の中で当社は、2019年5月に公表した「2019 中期経営計画」のもと「クルマのことならオートボックス」の実践を通じた地域ナンバーワンの店づくりを目指し、顧客満足度向上のための接遇・接客力の強化、技術力を備えた専門スタッフの育成に取り組んでまいりました。

販売施策といたしましては、ボディコーティングやヘッドライトコーティングメニュー等、車の美観を向上させる潜在的な需要に着目したピットサービスメニューの拡充のため、K e e P e r 技研(株)による技術認定店「キーパープロショップ」の展開を7店舗でスタートし、高度な施工技術の訴求による競合店との差別化を図ってまいりました。また、タイヤの販売数量の底上げと地域シェア拡大に重点を置き、低価格帯商品を充実させた売場作りと店頭販売体制の強化に継続して取り組んでおります。また、近年カーナビゲーションの販売が減少する一方で、運転の安全性への関心の高まりとともにドライブレコーダーの需要が急増しており、カーナビゲーションに並ぶカーエレクトロニクスの主力商品として拡販に注力してまいりました。

これらの施策と増税前駆け込み需要等の要因により、カーエレクトロニクス部門は前年同期比15.3%増、タイヤ・ホイール部門の売上高は同12.8%増、ピット・サービス工賃部門は同9.1%増となり、車販売部門は、オートボックスのカーリースプラン「まる乗り」の販売の開始などにより、同37.1%増となりました。

また、自動車事故時の修理サービス等への相乗効果を図るべく、継続して取り組みを行っている自動車保険代理店事業につきましては、手数料収益が順調に拡大し業績に寄与しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は売上高4,390,486千円(前年同期比9.2%増)、営業利益254,235千円(同80.0%増)、経常利益279,495千円(同71.8%増)、四半期純利益190,031千円(同74.4%増)となりました。

各品目別の売上高及び構成比率は次のとおりであります。

品目別の売上高及び構成比率

(記載金額は千円未満を切捨)

品目	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
ピット・サービス工賃	1,295,402	32.2	1,413,650	32.2	2,665,251	30.4
タイヤ・ホイール	793,271	19.7	894,444	20.4	2,109,888	24.0
アクセサリ・メンテナンス用品	823,513	20.5	833,958	19.0	1,768,388	20.1
カーエレクトロニクス	619,902	15.4	714,785	16.3	1,194,388	13.6
オイル・バッテリー	346,083	8.6	361,358	8.2	723,215	8.2
車販売	92,263	2.3	126,502	2.9	218,170	2.5
その他	51,529	1.3	45,786	1.0	100,881	1.1
合計	4,021,967	100.0	4,390,486	100.0	8,780,184	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 第1四半期累計期間より、従来の品目区分名「車検・サービス」を「ピット・サービス工賃」に名称変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ6.8%、464,145千円増加し7,265,992千円となりました。これは主に、現金及び預金、有形固定資産、差入保証金の減少に対して、商品、売掛金及び流動資産のその他に含まれる未収入金の増加等があったためであります。

負債は、前事業年度末に比べ15.7%、286,001千円増加し2,113,177千円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)及び賞与引当金の減少に対して、買掛金及び未払法人税等の増加等があったためであります。

純資産は、前事業年度末に比べ3.6%、178,144千円増加し5,152,814千円となりました。これは主に、配当金の支払に対して、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、株式報酬としての新株発行による資本金及び資本剰余金の増加等があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947,011	1,917,029
売掛金	463,820	612,575
商品	940,219	1,182,405
その他	307,764	439,074
流動資産合計	3,658,815	4,151,084
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	803,555	787,790
土地	686,694	686,694
その他(純額)	337,303	329,544
有形固定資産合計	1,827,553	1,804,030
無形固定資産	6,095	6,010
投資その他の資産		
差入保証金	784,303	756,911
その他	525,079	547,955
投資その他の資産合計	1,309,382	1,304,867
固定資産合計	3,143,030	3,114,907
資産合計	6,801,846	7,265,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,644	747,922
1年内返済予定の長期借入金	116,708	99,572
未払法人税等	78,646	119,001
賞与引当金	171,337	115,934
ポイント引当金	5,950	2,863
その他	442,479	341,211
流動負債合計	1,100,765	1,426,506
固定負債		
長期借入金	163,480	118,652
退職給付引当金	436,151	449,180
資産除去債務	82,159	82,925
その他	44,620	35,913
固定負債合計	726,411	686,671
負債合計	1,827,176	2,113,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	586,192	602,583
資本剰余金	560,798	577,189
利益剰余金	3,827,465	3,972,903
自己株式	△117	△117
株主資本合計	4,974,339	5,152,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330	255
評価・換算差額等合計	330	255
純資産合計	4,974,669	5,152,814
負債純資産合計	6,801,846	7,265,992

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,021,967	4,390,486
売上原価	1,973,569	2,172,184
売上総利益	2,048,398	2,218,302
販売費及び一般管理費	1,907,191	1,964,066
営業利益	141,206	254,235
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,199	5,278
受取手数料	7,062	7,467
その他	13,876	14,822
営業外収益合計	26,138	27,568
営業外費用		
支払利息	1,463	881
固定資産除却損	1,590	869
店舗復旧費用	948	73
その他	662	485
営業外費用合計	4,665	2,309
経常利益	162,679	279,495
税引前四半期純利益	162,679	279,495
法人税、住民税及び事業税	28,676	98,106
法人税等調整額	25,053	△8,641
法人税等合計	53,730	89,464
四半期純利益	108,949	190,031

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。